

東京高輪病院における看護師負担軽減計画（令和８年度）

令和８年４月現在の看護師の勤務状況 １．看護師数 常勤 １７６名 非常勤 ９名 ２．常勤看護師平均業務時間（月）平均 ２．１時間		目標 ○看護師がこれまで担っていた業務等で、他職種へ分担可能なものは積極的に分担を進めており、今後もこれを推し進めることを目標とする。		
分野	現状	令和８年度の目標	目標達成のために必要な手順	備考
薬剤部	入院患者の使用薬剤の確認	入院前に、治療や検査に支障がある薬剤の確認 持参薬確認時、当院未採用の薬剤の確認と代替薬の提案	入院前のお薬相談室における薬剤確認の徹底 入院時の持参薬鑑別	
	服薬指導と自己管理薬の服用状況確認	薬剤管理指導全般を行うが、特に自己管理している患者への薬剤の説明と服用状況の確認	薬剤を自己管理している患者の把握・コンプライアンス確認 病棟担当者の病棟に関わる時間の調節（1.2倍に増やす）	
地域医療連携室	他医療機関の紹介業務	他院を受診する場合の医療機関探しを行い、医師・看護師及び患者との信頼関係の構築にも援助を行う	普段から地域医療機関開業医の情報を集めリストアップしておき、スピーディに対応できるようにする	
医療相談室	入院患者への援助	患者が治療に専念できる環境づくりを援助し、医師や看護師の診療・看護支援を行う	心理的問題の解決援助、経済的問題の解決援助	
	外来・検診の採血業務に携わる看護師の不足	全面的に検査技師が担当する	健診採血において非常勤技師がいない月曜日の採血を技師が行う。	
看護部	入院アメニティセットの導入	現状利用している入院セットを安定的に運用する	入院患者への利用を継続的に推進する	
	シーツ交換、退院後のベッド環境整理の外注	現状利用している入外注業者による委託業務を安定的に運用する	現状業者の確保を安定的に行う 看護補助者への教育	
	病棟ボランティアの導入継続	入院患者の対応について継続的な運用を推進	現状ボランティア人材の確保を安定的に行う	
	病棟事務員（クラーク）配置	看護補助業務を積極的に補助し超勤時間の短縮を目指す	看護師と定期的な情報交換を行い看護師の負担軽減に努める 業務の見直し、代行入力	
	ケア業務の看護師・看護助手の協働	患者ケアに対しの確な仕分けを行うことで協働を継続し業務の軽減を図る	看護師と定期的な情報交換を行い看護師の負担軽減に努める	
	看護補助者の早出、遅出勤務の配置	人材募集につとめ採用できるように努める	人材紹介会社の活用 人材育成	
	患者の情報収集のために自主的に勤務時間前に出勤している	勤務開始１５分間を情報収集の時間に設定自主出勤を禁止した	看護職員の意識改革及び勤務方法の見直し	
臨床工学	協働従事業務である人工透析室での業務を分担し負担軽減を目指す	透析ブライミング、使用物品の準備、穿刺	カンファレンスの実施	
放射線	脳血管撮影検査における看護師の業務負担の軽減を検討	担当看護師と協力する項目に対して検討を行い業務負担の軽減を図る	検討した項目に対して評価を行う	